

具体的な取組②【MDA (Maritime Domain Awareness) の実現に向けて】

総合海洋政策本部参与会議 海洋調査・海洋情報の一元化・公開PT報告(平成26年3月)

◆グローバルでリアルタイムな情報一元化の重要性

- ✓ 地球温暖化対応、生物多様性、資源管理など、海洋の諸課題はいずれもグローバル。
- ✓ 危機管理、安全確保等のためにはリアルタイム性が必要。

◆MDA(海洋状況把握／海洋領域認識)とは

- ✓ MDAは、海における人為的・自然的脅威に対処するための情報共有の取組。
 - ✓ 9.11を契機に安全保障政策として米国で誕生。
 - ✓ 欧州では海洋環境保全など多目的な取組として発展。
- ✓ 環境情報(海流、水温、海底地形等)に加えて、人間活動に関する情報(船舶、貨物、海洋インフラ等)を対象。人工衛星の活用によってリアルタイム性を重視。

◆日本のMDAのあり方

- ✓ 海域での危機・脅威をグローバルに把握。
- ✓ 情報基盤として幅広く公開し、産業振興・科学技術発展にも寄与することを目指す。
- ✓ 「宇宙も利用した海洋情報一元化・公開」達成。

◆実現方策

- ✓ 国家安全保障戦略、海洋基本計画、宇宙基本計画に従ってMDAを実現するため、国家安全保障局、海洋本部事務局、宇宙戦略室等が連携して検討を深化。

MDAによる情報共有のイメージ

